



「ライン河畔より」

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地にいきなさい。」
創世記 12章 1節



ホームページ <http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki>
ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ <http://koelnbonn.jp/>
佐々木良子宣教師ドイツ連絡先 Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany
Tel : +49 1512910 6278 E-mail: r310130s@gmail.com ✉ メールアドレスが変更しました。

ご挨拶 Guten Tag ! 主の聖名を賛美いたします。



いつもニュース・レターやメールマガジンをお読み頂きありがとうございます。ドイツ・ケルンの地に遣わされ、与えられたかけがえのない交わりの中で8年が瞬く間に過ぎようとしています。2024年もあと僅かとなって、日本への本帰国が徐々に現実味を帯び、これまでの歩みを振り返る時が多くなってきました。

赴任当初の2016年から大勢の方々寄り添ってくださり、お祈りと共に尊いお捧げものによって支えて頂き、衷心よりお礼申し上げます。昔は「十年一昔」とも言われましたが、最近1、2年の間に世の中はすっかり変わり、思いがけないことが次々と起っています。しかし、世の荒波に翻弄されず現在に至るまで変わることなく、温かく見守り続けてくださる皆さまの信仰にいつも感銘を受けています。そして主を中心とした神の家族の大きな愛に触れさせて頂いた8年間でした。

ケルン・ボン日本語教会（以下、ケルン教会）に集う皆さんは、日本の方が私をどれ程支えてくださっているか目の当たりにしていますから、「先生のご家族は皆さん召されてこの世ではお一人と言っていますが、日本に沢山の神の家族がいらっしゃるから寂しくないわね!!」と何回も仰っています。正にそうです。ケルンでの神の家族の小さな共同体、日本全国におられる神の大家族の愛に育まれながらドイツで歩み続けることができました。この地に遣わされてきたからこそ、ドイツと日本の両国による家族が与えられた幸いを噛みしめています。「わたしの魂よ、主をたたえよ。わたしの内にあるものはこそって聖なる御名をたたえよ。わたしの魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。」（詩編 103 編 1~2節）あれも、これも・・・、数えきれない主の御計らいが走馬灯のように脳裏に浮かびます。

これまでのご用に加えて、昨年から今年にかけてはドイツ国外での働きが多くなりました。EU=欧州連合加盟国への移動は、パスポートなしに（飛行機以外）、ドイツ国内と同じような感覚で入国できます。しかし矢張りドイツ圏内に入ってドイツ語が聞こえるとホッと、ケルン中央駅前にドンとそびえ立つケルン大聖堂を見ると、我が家に辿り着いたという感じです。現在の私にとってケルンは第二の故郷のような気がしています。

さて、ケルン教会の現状ですが課題は様々あります。昨年から私が担っていた働きを皆さんに徐々に分散しつつ、バトンタッチしていますが、遅々として進まない案件もありました。しかし、つい先日、主が知恵を与えてくださり、重荷を一つ降ろすことができました。祈り続けていると道が拓け一気に前進してゆくことを主が教えてくださいました。最後に為すべきことはまだまだ多くありますが、神の時にその道が拓けてゆくと信じて祈り備えて参ります。ケルン教会の新しいスタートの準備のためにお祈り頂けると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

集会や説教のご用等で訪れた地



座右の銘 「始めないと始まらない」 —佐々木作—

海外生活について一言でいうならば、日本にいる時のようにはいかないということです。不自由さ、思いがけないことや理不尽なこと、特に語学力の乏しい私にとっては自分の無力さを叩きつけられて自己嫌悪に陥る事もしばしば。

しかし、そこで尻込みしている限り何も始まらないので、いつの日からか「始めないと何事も始まらない！」という思いが与えられ、ドキドキしながらも勇気をもってチャレンジするようになりました。すると新しい世界が広がってゆく楽しさ、嬉しさを味わうようになり、何よりも自信がつくようになりました。結構、エネルギーを伴いますが、どこにいても座右の銘を掲げて果敢にチャレンジしながら、恵みの世界を広げていきたいと願っています。

世界で唯一？ 自由な聖書の学び会

これまで、具体的に集会の内容をお伝えしていませんでしたので、私が力を入れている聖書の学び会についてご紹介します。以前は祈りのテキストを使用していましたが、昨年のクリスマスからテキストは用いず、聖書のみで行っています。教会暦に沿った聖書の箇所を皆さんと一緒に味わいながら読みます。手元にあるのは聖書のみで、旧約から新約まで色々な箇所を開きます。そこから受け取ったこと、発見や感じたこと、疑問点等。参加メンバーは、毎回固定されていて凡そ8名位で、其々の思いが飛び交い、言いたいことを言える楽しい会です。また、様々な角度から信徒の方に教えられることも多くあります。

一朝一夕にこのような会になったのではなく、これまで培ってきた集大成のように思います。そして何といたっても忌憚なく何でも言い合える信仰の仲間が与えられた、という幸いに感謝する毎日です。数年後、おそらく懐かしく思うことでしょう。そんなひと時をいつも参加されている姉妹が、ある日のことを書いてくださいました。

～ 聖書を学ぶ会のある日のこと ～

新型コロナウイルスをきっかけに、礼拝をスカイプで行った時から聖書を学ぶ会もスカイプで毎水曜日 10時から約一時間行っています。ブリュッセル、日本からも参加者がいます。

ある日:

その日はもう3回位同じ詩篇51編を読み続けているので、佐々木先生に「しつっこい程この箇所を見ていますね」と私。

先生：この詩編は悔い改めの大切な詩編だからじっくりみているんです。

前回の疑問点を発言する K 姉：ダビデはいくら悔い改めたといっても、バトシェバとの間にソロモンを宿すことは納得いかない！バトシェバに対してもっと別の行動を取れたのではないか。たとえば娶るのではなく別に住まわせて援助するとか。

H 姉：あの時代、寡婦一人で住むのは難しいので妻にしたのは良かった。女、子供の数が入らない聖書の時代だから。

聖書読む会の参加者はほとんど女性ですので、佐々木先生が男性のF兄に何か意見を伺いたら、そのような経験がないのでわからないと。先生は、そんな経験があったらそれは困りものですよと言われ、そこでF兄は苦笑い。

先生はダビデの罪に関して、彼のように財産や地位もあると傲慢になって罪を犯し易いもので、私たち人間の中にそのような罪がある。何でも上手く行っているときにこそ謙虚であるべきだという話へ発展し、サタンは用いられている人を狙ってくるという話もお聞きしました。

51編のダビデの「憐れんでください」と懺悔の深い祈りから神への賛美へと続き、神の赦しを学ぶことができました。バトシェバからソロモンが生まれ、彼がダビデの計画した神殿を完成させたという人間の計り知れない神の愛に触れることができ、長い目で見ると色々な事も含めて、人間の知恵では思いつかない神のご計画ということが分かりました。そして、最後に先生はミカ書7章18.19節から、神はすべての罪を海の深みに投げ込まれる。と語られ、慈しみ深く、罪を赦される神であることが分かって感謝！の一言です。

礼拝と違って、同じ聖書の箇所を読み各自それぞれ感じたこと、意見を話す事が出来るのはとても貴重な時間です。そして他の人の思いを聞くこともこの会の嬉しいことです。このような時間を持つことができ、佐々木先生を送り永く支えてくださる皆様に心から感謝いたします。シュミット亜弥子

報いてくださる神

これまでもお伝えしていますが、今年から毎月1回、無牧のブリュッセル教会へ通っています。しかし、ドイツ鉄道が当てにならないために予定の電車に乗る為には、1時間以上も余裕をもって家を出なくてはなりませんし、駅に到着したら、今度は乗るべき電車が予定通りくるのかと心配しながら電光掲示板と睨めっこです。電車に乗ること自体が大きなストレスになってます。それにも拘わらずお伺いすればそれ以上に喜びがあるので通い続けることができます。

昨年、信仰復興した方が日本への引っ越し間際で忙しい最中でしたが、教会にいらしゃいました。献金感謝の祈りの際、「以前の私だったら教会には来なかったでしょうが、今日、このように神様を第一にできたことを感謝しています…」と祈られて、一同が感銘を受けました。恵み豊かな祈りによって電車のストレスは吹き飛びました。更に現在、洗礼に向けて準備中の兄妹さんもおられ、主の祝福が満ちている教会です。ドイツ鉄道に負けることなく、日本帰国まで喜びをもって通い続けて参ります。



今後のお祈りの課題

- ★今後、ケルン・ボン日本語教会を担ってくださる金 聖恩姉のために
現在、平日はフルタイムで働きながら学びの最中ですから、心も身体も支えられて
教会のご奉仕と両立できますように
教会の皆さまがこれからも全面的に姉妹を支え続けていきますように
- ★ご高齢の皆さまのご健康が支えられて、更に賜物が用いられますように
- ★教会成長のために、お一人ひとりの信仰が霊に満たされて成長できますように
- ★締めくくりに相応しい時となりますように、最後の大きな仕事＝洗礼準備のために
- ★日本帰国に向けての準備のために、2025年3月中旬に帰国予定

ちょこっとコーナー

一夜限りの命のために

5年前にお友だちから、一晚しか咲かない「月下美人」の鉢植えを頂きました。背丈はどんどん伸びるのですが、花の咲く気配は一向になく諦めていました。しかしある時、突然蕾がついていることに気がついたのですが、翌日から夏休みで家を留守にします。誰にも見てもらえずに咲いたら花が可哀想に思えて、教会のS姉宅に預かって頂くことになりました。

休暇後は、S姉宅にて家庭集会の予定だったので、その時に引き取るつもりでした。ところがある夜、蕾は私を待ちきれずに、大きく膨らみ始めて花が咲きそうになったので、S姉は慌てて「咲いたら一夜限りの命だから、是非見ないと！」と、仰って、私の自宅迄車でお迎えにきてくださいました。

お陰で、開花した見事な月下美人をS姉宅と一緒に見る事ができました。S姉の情熱と親切心に触れた時でもありました。満開時間はほんの1～2時間ほどでしたが、その神秘と、華麗な美しさを一緒に喜ぶ一夜となりました。



蕾から
約1時間後
開花



ドイツあるある事情

日本食は、海外在住者にとって貴重品ですので、お土産などに頂いた物等は、勿体なくてなかなか手をつけられません。

お客様が見えた時に一緒にとか、何か特別な時にと、大事にしまっておきます。そうしている内に賞味期限が切れてしまうことが多々あります。何ともおかしな話・・・と思われることでしょう。しかし、日常茶飯事!!

乾物類の期限切れ1年後は、何の問題もなし、2～3年後は、まあまあ、これもOK。特に気心知れた方には、「X年前のものだけど・・・」とちょっとお断りしてから一緒に頂きます。これまで何方もお腹は壊していません。

そろそろ日本帰国が近くなっている私。保管している箱を覗いてみると、期限切れがあるわ、あるわ!! これからせつせと食べ続けなくなりませぬ。それも間に合わないで貰って頂くことに。決して無駄にはしません!!

祈られていたその時に

幸いなことに、これまで恐ろしいことや危険な目に遭遇することはなく平穩無事に過ごしていました。しかし、ブリュッセル教会でのご用のために、特急列車に乗り込む際、危うくスリの被害に遭うところでした。

長距離列車は、大抵の人が大きなスーツケースを抱えているので、出入り口は混雑し並んで乗車待ちをしていた時のことです。脇腹に何か違和感を感じたら、私の後ろにいた若い女性が、私のバックのファースナーを開けて、財布を取り出そうとしていて、既に半分くらい出していた状態でした。その女性はイスラム教徒が被るスカーフ＝ヒジャブの下から手を出していたのです。スカーフが、丁度よいカモフラージュとなっていたと思います。

このような経験は初めてだったので、私は驚きのあまり声が出ませんでした。恐怖の時、声が出せないものだとつくづく思ったものです。財布を確認してから、その後、後ろを振り返ると既に女性の姿はありませんでした。

ドイツ鉄道の乱れと遅延は世界的にも有名になるほどです。しかし今回は、そのドイツ鉄道の乱れに助けられました。というのは、その前日、ケルン⇒ブリュッセル間が不通となっていたので、日曜日に教会にいけるか危うい状況でした。そのことを日本の方が心配してくださり、私が乗る予定の列車の発車時刻に合わせてお祈りするからと仰ってくださいました。そしてケルン教会の姉妹方も前日、当日、列車の運行状況を気にしてくださっていました。正にその時に、スリに遭遇しようになっていたのです。その時間の皆様のお祈りによって、主は私に気づきを与えてくださり未然に防ぐことができたかと確信しています。

これまで私はお財布に身分証明書、銀行のカード等、大切なものを全て一緒に入れていましたが、それ以来、お財布にはお金だけにして、他の重要なものは分けるようにしました。ですので、出かける度に、1.お財布、2.証明書等、と持ち物の確認作業が必要となりました…。これも身の安全のためですから、致し方ありませんね。。。

主にあってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から感謝いたします。

2023年4月1日～2024年3月31日		(単位:円)	
収	入	支	出
支援献金	3,018,550	宣教師支援金	2,211,260
イースター献金	15,000	社会保険料等	105,600
クリスマス献金	74,000	支援金(イースター)	15,000
夏期献金	16,000	支援金(クリスマス)	74,000
一時帰国宣教感謝	15,000	一時帰国宣教費用	5,800
光熱費支援献金	0	ミニバザー費用	46,990
ミニバザー売上	81,180	教会感謝献金	60,000
雑収入	36	支援金(光熱費)	600,000
預り金	256,000	ニュースレター発行	81,800
		事務通信費	9,364
		委員会費	6,169
		雑費(振込手数料)	24,703
		雑費(郵送通知料)	11,550
		退職手当積立金	360,000
		預り金	256,000
小計	3,475,766	小計	3,868,236
前年度繰越金	7,153,833	次年度繰越金	6,761,363
合計	10,629,599	合計	10,629,599

2024年4月1日～8月31日		(単位:円)	
収	入	支	出
支援献金	1,095,300	宣教師支援金	1,006,788
雑収入	61	社会保険料等	105,600
預り金	100,000	一時帰国宣教費用	8,630
		教会感謝献金	25,000
		事務通信費	7,850
		雑費(航空券キャンセル料)	34,324
		雑費(振込手数料)	7,684
		雑費(郵送通知料)	3,300
		預り金	50,000
小計	1,195,361	小計	1,249,176
前年度繰越金	6,761,363	次月繰越金	6,707,548
合計	7,956,724	合計	7,956,724

預り金は佐々木良子宣教師を支える会支援献金以外の献金です。

会計監査報告 佐々木良子宣教師を支える会殿

佐々木良子宣教師を支える会の2023年4月1日から2024年3月31日までの会計決算について関係書類、銀行預金、郵便貯金や郵便振替などを慎重に監査いたしました。

その結果、事業の執行および収支決算は適正に処理されており支援団体としての会計が適性に維持管理されていることを認めました。ここに御報告いたします。 2024年6月7日

監査人 八重樫幸栄

献金者 ご芳名 (敬称略 五十音順) 2024年1月1日～8月31日

支援献金

相原美枝子 相原真祈子 青池博美 阿部順子 石井泰子 石川圭子 石川 徹 石川真知子 石崎孝司 伊藤いく子 伊藤祐子 伊東正壽 伊東みどり 井上 馨 牛山輝代 内城節子 浦川 肇 浦川恵子 江坂宏子 遠藤正一 遠藤教子 大作 寿 大橋 章 大淵美智子 岡崎 響 小澤百代 鹿郷雄通 加賀谷則子 片山まどか 桂川信子 加藤悦子 加藤弥生 金子栄子 金坂久子 金田佐久子 金森勝芳 亀井耕二 神尾祐美子 川田裕生 木下宣世 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 貴村かたる 金 大男 久多良木和夫 久多良木志津子 空閑信憲 熊谷千鶴子 黒沢龍吉 黒沢咲子 小泉 誠 小泉眞理 小林興司 近藤眞一郎 近藤美穂子 齋藤悦夫 齋藤喜江子 齋藤久子 斉藤幸子 佐伯千恵子 柴 直美 相良佳子 佐久間文雄 佐々木千沙子 佐藤恒夫 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤陽子 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 薮 利勝 薮 清江 篠原照美 嶋 優子 島 隆三 島 静江 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 神保ふみ子 杉本宙士 鈴木 啓 鈴木洋史 鈴木初子 鈴木優子 曾根邦彦 高野加奈子 高橋みどり 高花富夫 瀧田茂子 田尻可納子 蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 都築つとむ 都築英夫 寺村智恵子 鶴巢香徳利 鶴巢和徳 当麻民子 永井美智子 長瀬信義 長瀬知子 西村倭子 西村愛 抜井太一郎 抜井教子 沼 みどり 原嶋和夫 原田明子 張谷廷河 張谷麻帆 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 福田真希子 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本律子 藤森知子 藤谷正一 星野 環 細田多恵子 本田昌義 牧田 茂 榎本早苗 松井美代子 松本幸子 箕輪幸子 皆川昌子 宮崎勇 宮崎美代子 宮地多穂子 宮本峯子 宮本明実 宮本容子 明瀬真弓 村尾きよ子 村松紀子 物井恵一 物井ますみ 森山和彦 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 柳瀬明子 山崎広子 山下 誠 山本房枝 山本史子 横田光江 横山義孝 横山勝よ 和海豊子 渡部裕子 和田洋子 無名氏1名

ホーリネスの群首都圏教会 赤羽教会 浅草教会 荒川教会 大阪教会 柏教会 亀戸教会 京都復興教会 小松川教会 恒励会 小松川教会婦人会 仙台青葉荘教会 清水ヶ丘教会 海外宣教会 洗足教会 オリーブの会 西宮教会 日本キリスト伝道会 三崎町教会 みさき基金 宮崎清水町教会 インターナショナル・バイブル・フェローシップ

クリスマス献金 洗足教会 夏期献金 相良佳子 特別献金 鈴木優子 献品 鈴木優子

**大変失礼ながらお名前が洩れた方がおりましたらお知らせくださいますようお願いいたします。

— 編集後記 —

来年3月の日本帰国準備も並行しつつ、佐々木先生はいつもと変わらないペースで一つひとつの事を丁寧にこなしていらっしゃる様です。ここまで支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。思えば2016年3月迄、先生は我ら小松川教会の牧師でした。その関係で小松川教会を拠点として支える会が発足されました。ケルンに着任した当初は、生活に慣れるのに大変だった事でしょう。しかし皆さまの温かい応援と、ケルンの教会の方々のご協力によりすぐに順応して、様々な伝道の展開を見せて下さいました。

家庭集会、聖書をより深く読む習慣をつける“聖書読書会”や、子育て中のお母さんの集い“ママの会”を立ち上げ、コロナ禍の時はいち早くSkypeを用いて礼拝や集会の可能性を広げました。また脚の怪我や、頭の手術と入院!!、その中でも神様の癒しと深い愛を見ることが出来ました。

ここ数年はブリュッセル日語教会のメッセージも担われ、フィンランドへクリスマスメッセージを届けに、またバルセロナのサグラダファミリア教会でのお話など、国境を超えての活躍ぶりです。ここまで神様のお働きが成されました事、そして無事に帰国を迎えられるのは、神様のお守りと皆さまの尊いご協力によるものです。心より感謝申し上げます。毎回のニュースレターを読んでくださり、ありがとうございました。(Y・T)

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ
<http://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://koelnbonn.jp/>

連絡先「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一
〒134-0081
東京都江戸川区北葛西 4-3-9・小松川教会内

Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-5262
Email: rsmissonary.hp@gmail.com

送金先 郵便振替: 00120-3-450845
銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店 店番463
(普通) 口座 0113856

*定期的月額献金一口1000円から・随時自由献金
*上記口座名義: 佐々木良子宣教師を支える会
会長 物井恵一